

第2回日南線（油津・志布志間）の将来を考える会議

次 第

日時：令和8年2月6日（金）午後2時～

場所：宮崎県庁防災庁舎7階 防74号室

1 開 会

2 挨 拶

3 報告事項

（1）日南線（油津・志布志間）における乗込調査結果について

資料1

（2）沿線高校生へのアンケート調査結果について

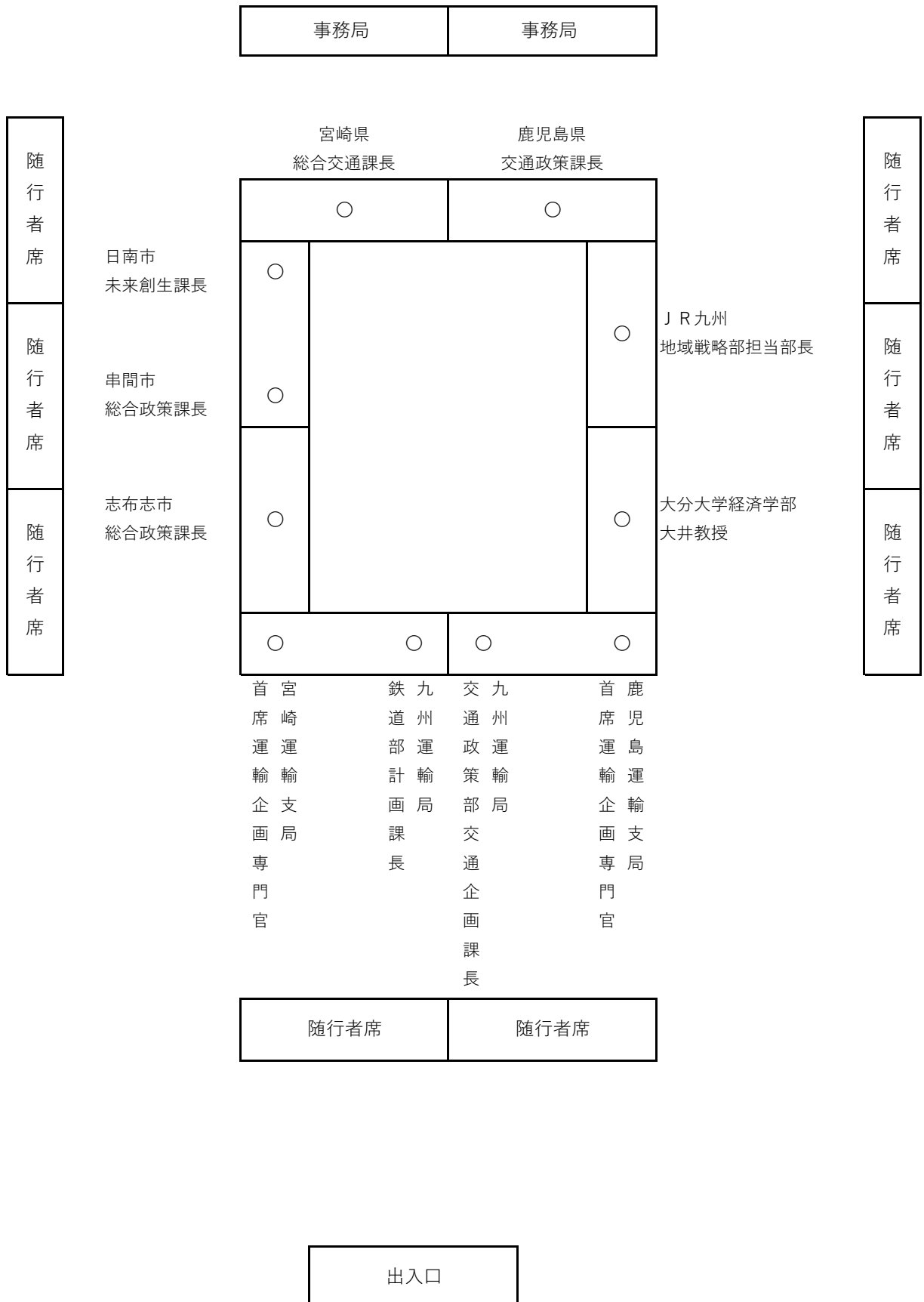
資料2

4 意見交換

5 そ の 他

6 閉 会

第2回 日南線（油津・志布志間）の将来を考える会議 配席図



第2回 日南線（油津・志布志間）の将来を考える会議

出席者名簿

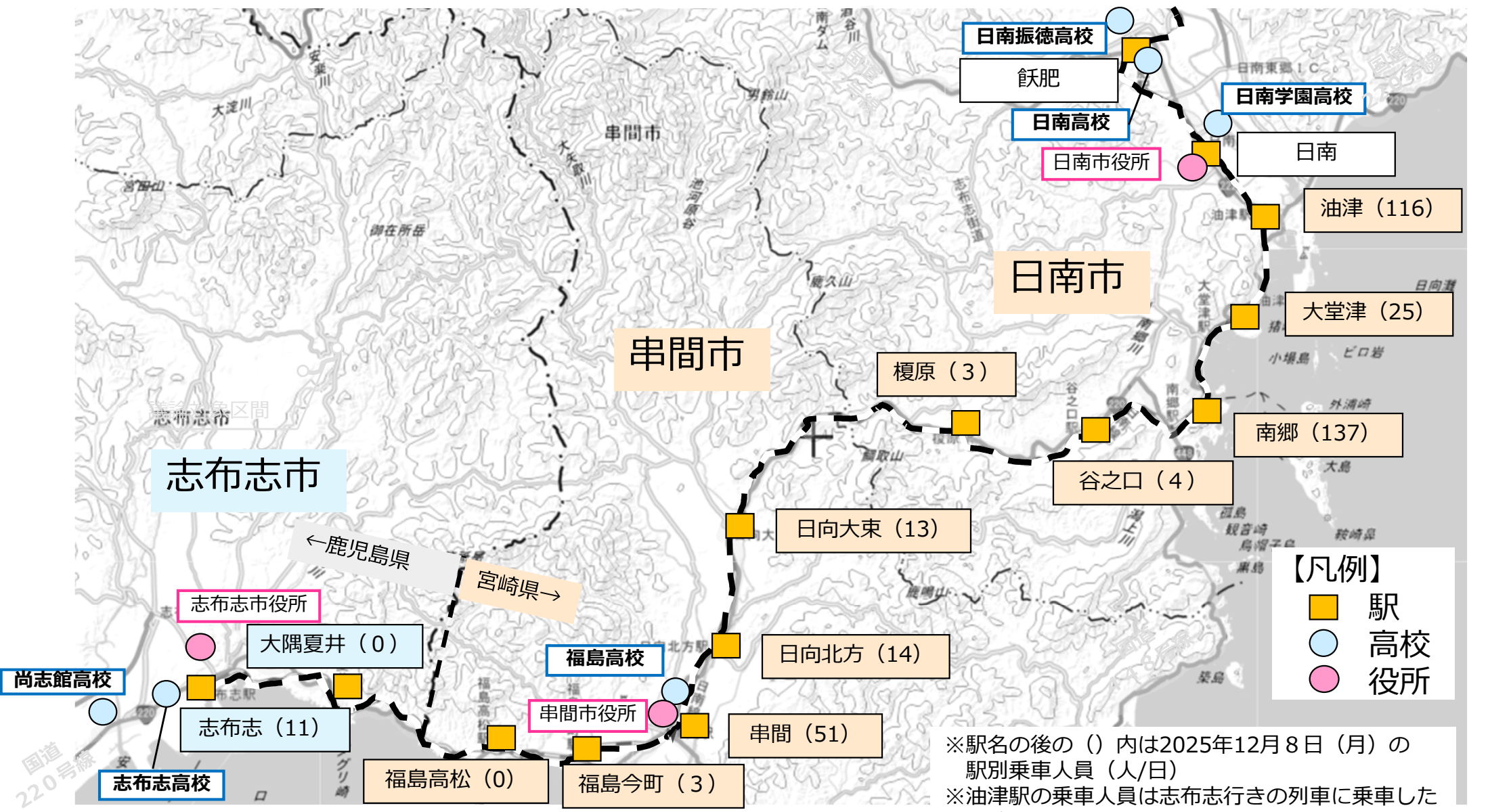
委員

	所属名	職名	氏名	備考
1	宮崎県総合政策部総合交通課	課長	松 田 隆	県
2	鹿児島県総合政策部交通政策課	参事兼課長	鈴木 圭 祐	県
3	日南市総合政策部未来創生課	課長	古澤 慎一郎	沿線市
4	串間市総合政策課	課長	内山田 修二	沿線市
5	志布志市総合政策課	課長	川上 桂一郎	沿線市
6	九州旅客鉄道株式会社 総合企画本部地域戦略部	担当部長	中 島 剛 志	鉄道事業者
7	大分大学経済学部	教授	大 井 尚 司	有識者

オブザーバー

1	国土交通省九州運輸局 交通政策部交通企画課	課長	小堀 まろり	国
2	国土交通省九州運輸局 鉄道部計画課	課長	井 料 達 己	国
3	国土交通省九州運輸局 宮崎運輸支局	首席運輸企画専門官	寺 次 英 修	国
4	国土交通省九州運輸局 鹿児島運輸支局	首席運輸企画専門官	谷 口 誠 一	国

沿線高校と日南線の位置関係



日南線（油津・志布志間）の 乗込調査結果について

令和 8 年 2 月

乗込調査の実施経緯、目的および概要

実施経緯

- ・ 第1回会議で「次回の会議までにアンケートなどによりデータの収集を行うものとし、その方法等については、今後、事務局等で検討し、委員に諮った上で実施する。」というまとめを踏まえ、検討会議を主体として実施するもの

目的

- ・ 各便の乗降客数を調査し、詳細な利用状況を明らかにする
- ・ 鉄道利用者へのアンケート調査により利用者属性や利用実態を明らかにする

概要

- ・ 調査実施日：2025年12月8日（月）
- ・ 調査対象便：全列車（始発～終電）
- ・ 調査対象区間：日南線 油津～志布志
- ・ 調査項目：①各便の乗客数②各駅の乗降者数③利用者属性④利用実態（目的、OD（出発地/目的地）、満足度等）

調査結果の信頼性

アンケート回答

- アンケート回答者数：173人
- 延べ乗客数：510人
- 回答率：34%※1

⇒延べ乗客数には往復利用者を含むため、実質的には鉄道利用者の半数以上から回答が得られたと推察

⇒アンケート結果の信頼性は問題ないと判断

利用状況

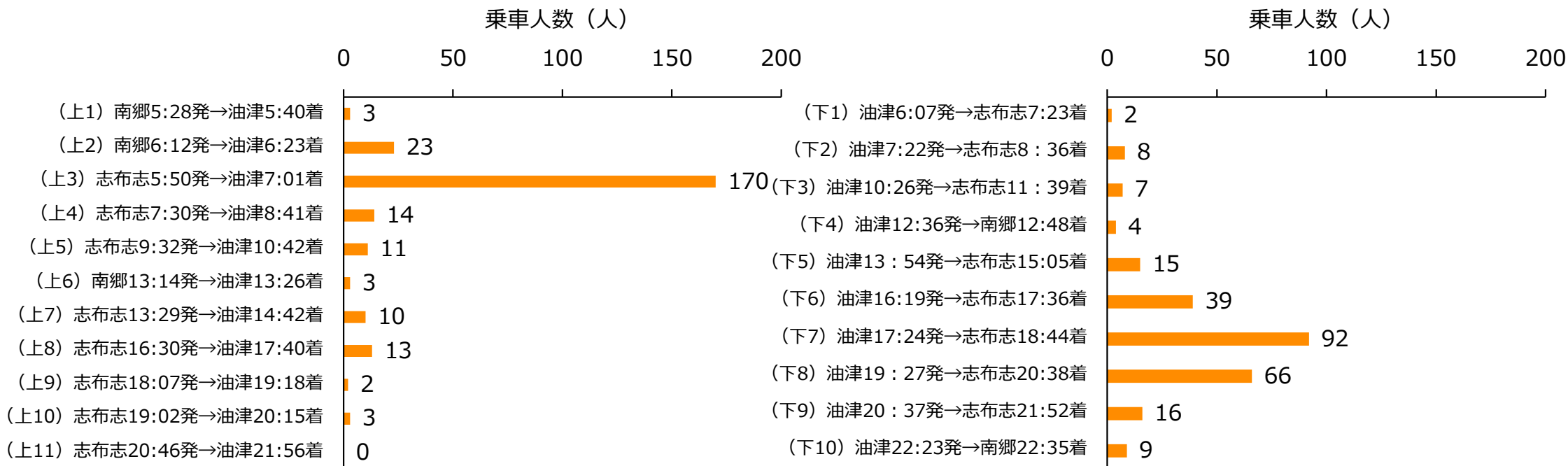
- 平均通過人員165人/日

⇒2023年度平均通過人員179人/日と同程度

⇒調査日は通常の利用状況を反映していると判断

列車ごとの利用状況

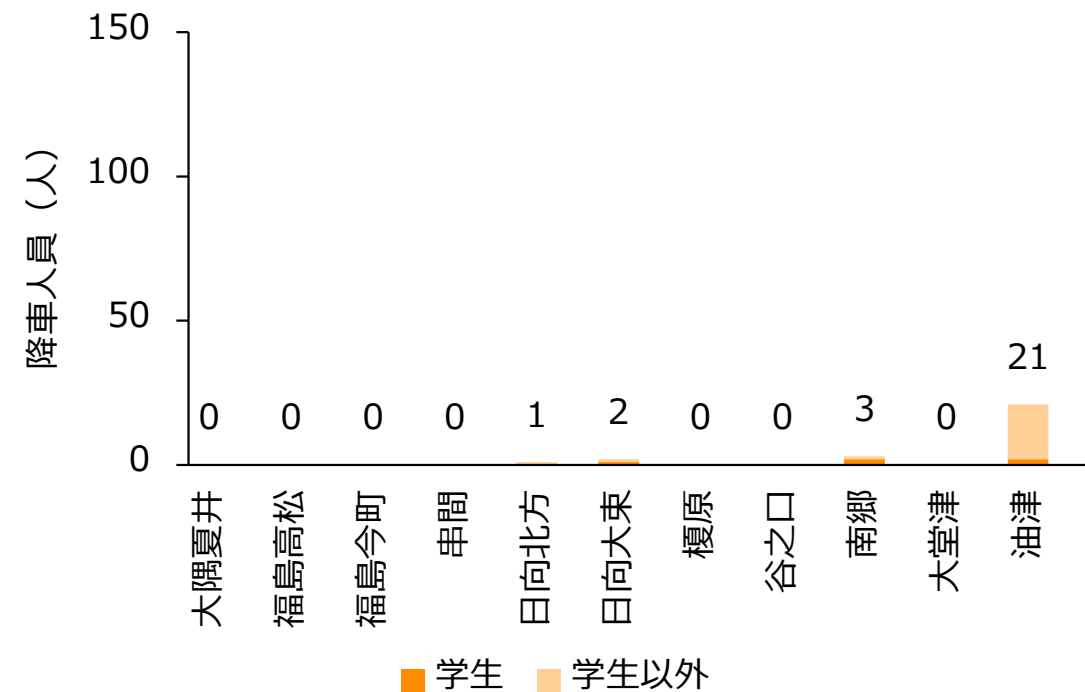
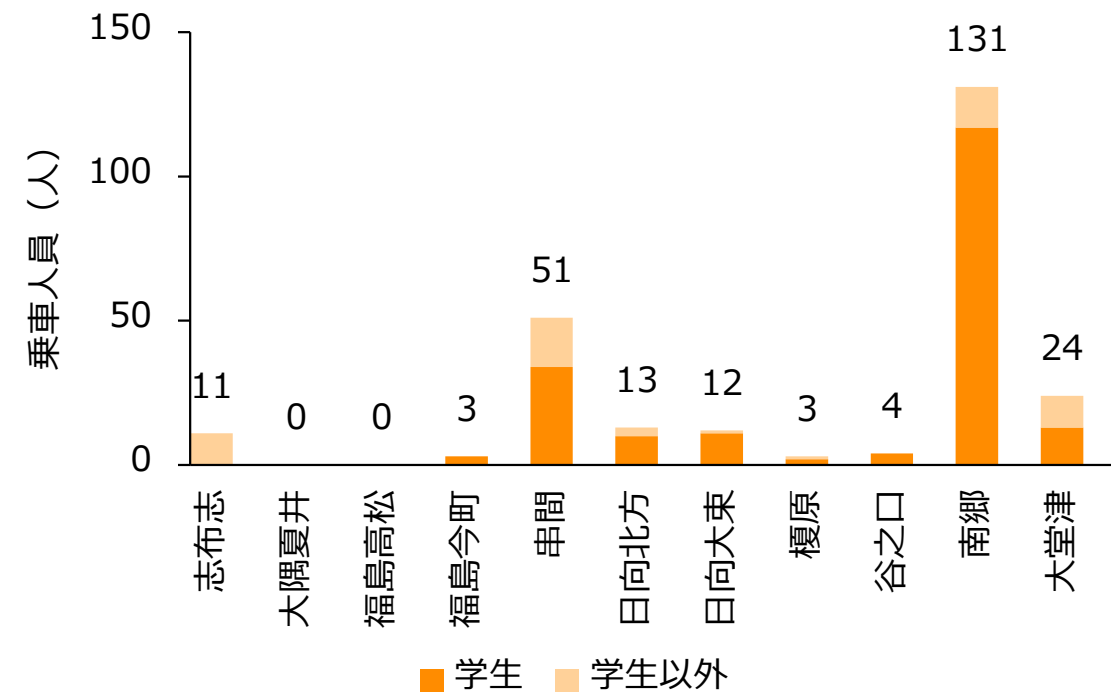
- 最も混雑する列車：朝の上り列車（最大170人）
- 利用が少ない時間帯：昼間の時間帯は1桁～十数人の列車が多い
- 時間帯別傾向
 - 朝：上り列車（宮崎方面行き）に利用が集中
 - 夕方：下り列車（志布志方面行き）に利用が集中



※乗車人数は、区間内の駅で乗車した人数の累計値を示しており、降車人数は考慮していない

駅ごとの利用状況（上り列車）

- 油津より先（宮崎方面）まで乗車する利用が中心
- 南郷、串間、大堂津を除くと、各駅とも利用者数は1桁～十数人規模

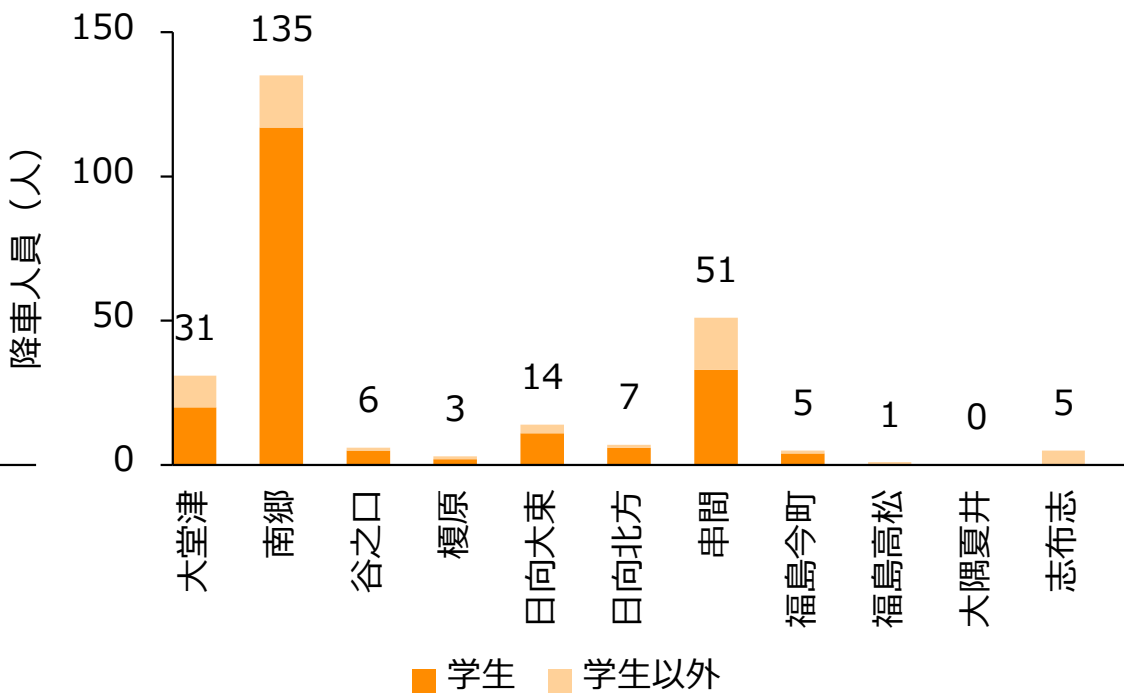
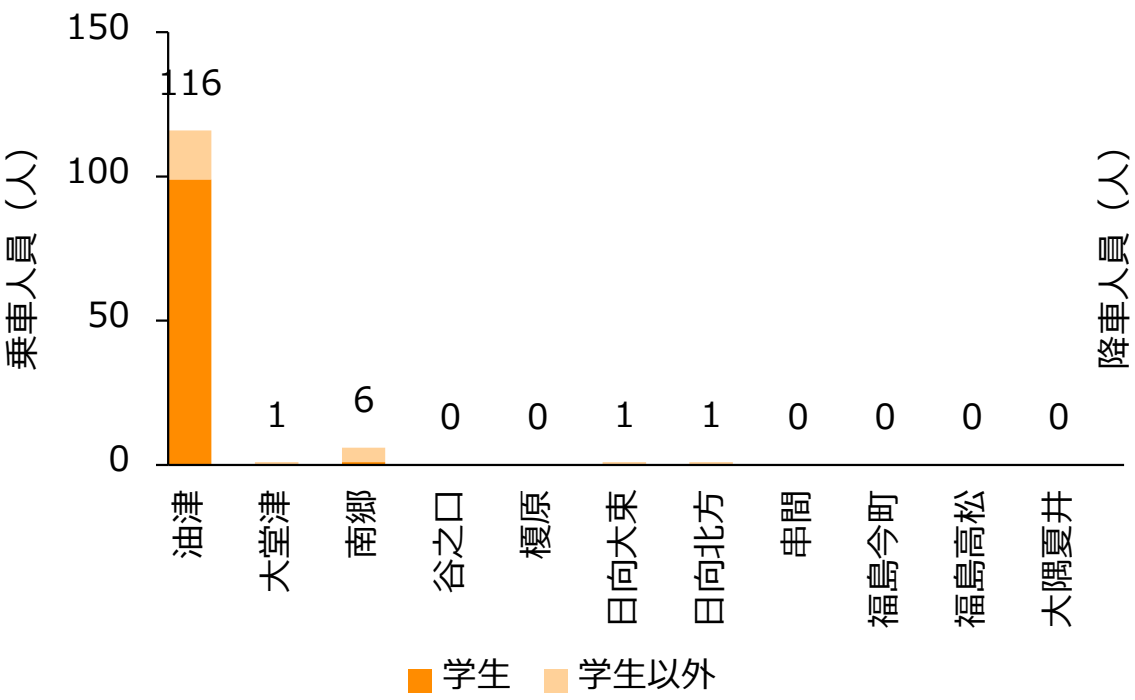


※油津駅の降車人員は宮崎方面行き列車へ乗り換えた方の数も含まれている

駅ごとの利用状況（下り列車）

- 多くが油津より宮崎方面の駅から乗車し、油津～志布志間で降車
- 県境（宮崎⇄鹿児島）跨ぐ利用は非常に少ない

※日南方面から乗り通しの方：133名

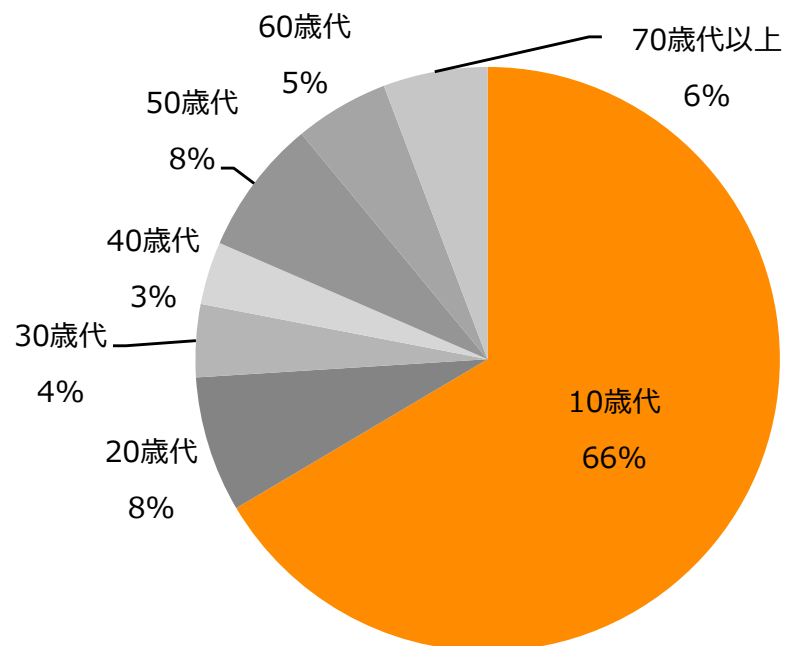


※油津駅の乗車人員は志布志（下り）方面行の列車の乗車人員を示している
※油津駅の乗車人員は宮崎駅方面から列車で移動し、油津駅で乗り換えた方の数も含んでいる

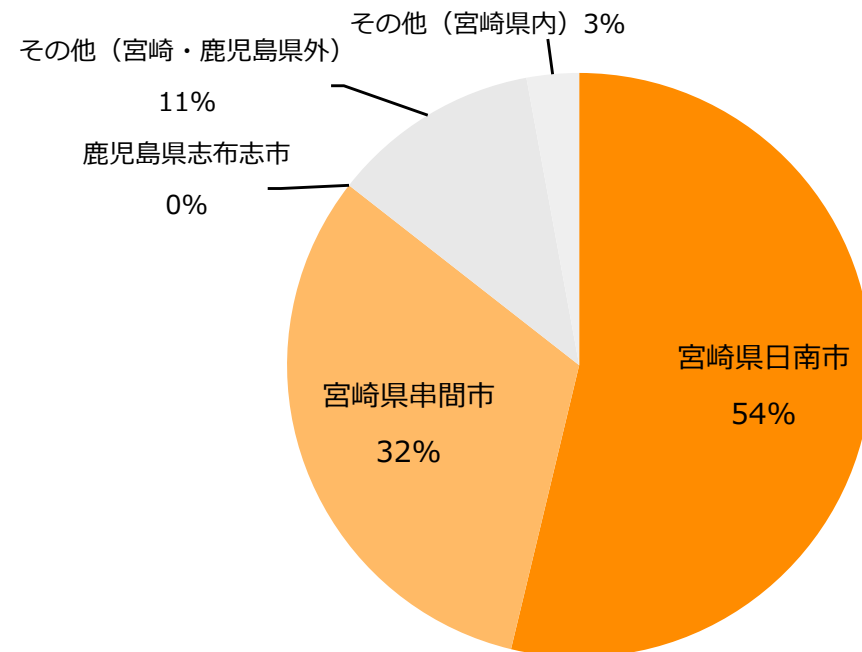
利用者の属性

- **年齢構成**：10代が約7割、70代以上の利用は少ない
- **居住地**：日南市、串間市で約9割→沿線に居住する**高校生の通学利用が中心**

あなたの年齢をお選びください。 (n=173)



あなたの現在の居住地をお選びください。 (n=173)

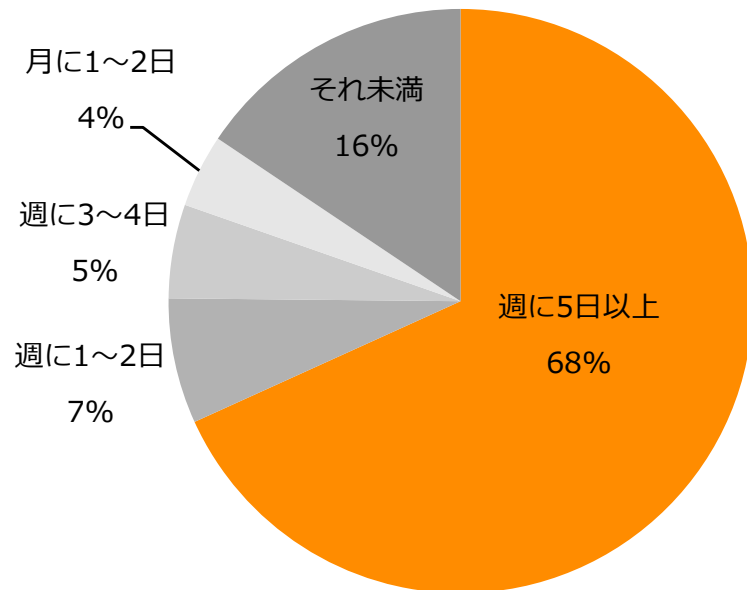


利用実態

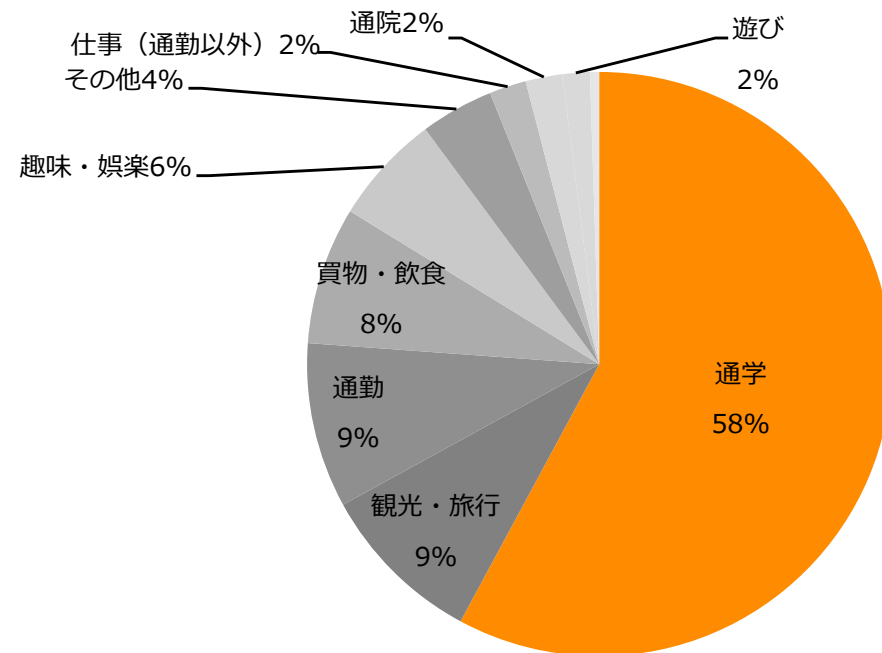
利用頻度：週5日以上が約7割

利用目的：通学が約6割、通勤・観光：約1割ずつ

普段、日南線（油津駅～志布志駅）をどのくらいの頻度で利用しますか。
(n=173)



本日の日南線（油津駅～志布志駅）の主な利用目的を教えてください。
(n=173)

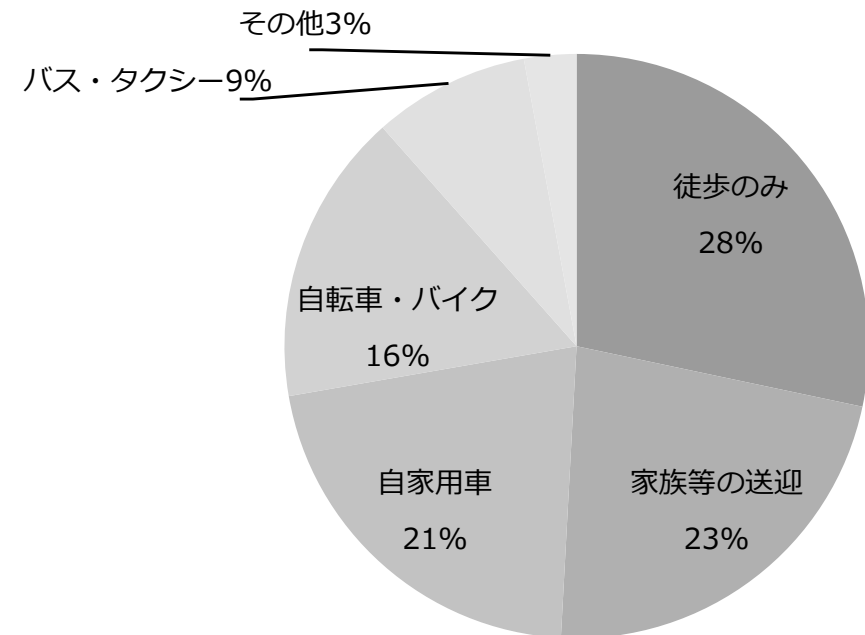


※複数回答可

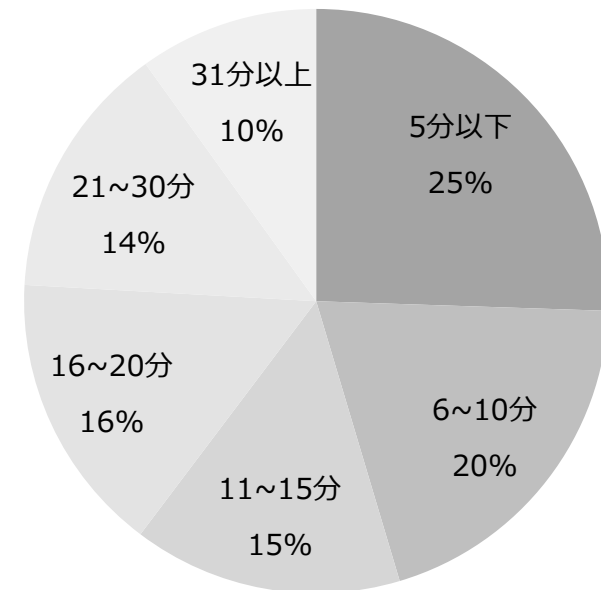
駅までのアクセス状況

- ・ 徒歩のみ：約3割、自家用車・家族送迎：約4割強
- ・ 自宅から駅まで16分以上：約4割
⇒送迎への依存度が高い傾向

駅までの移動手段についてお答えください。(n=173)



自宅から駅まで徒歩で何分かかりますか。(n=141)



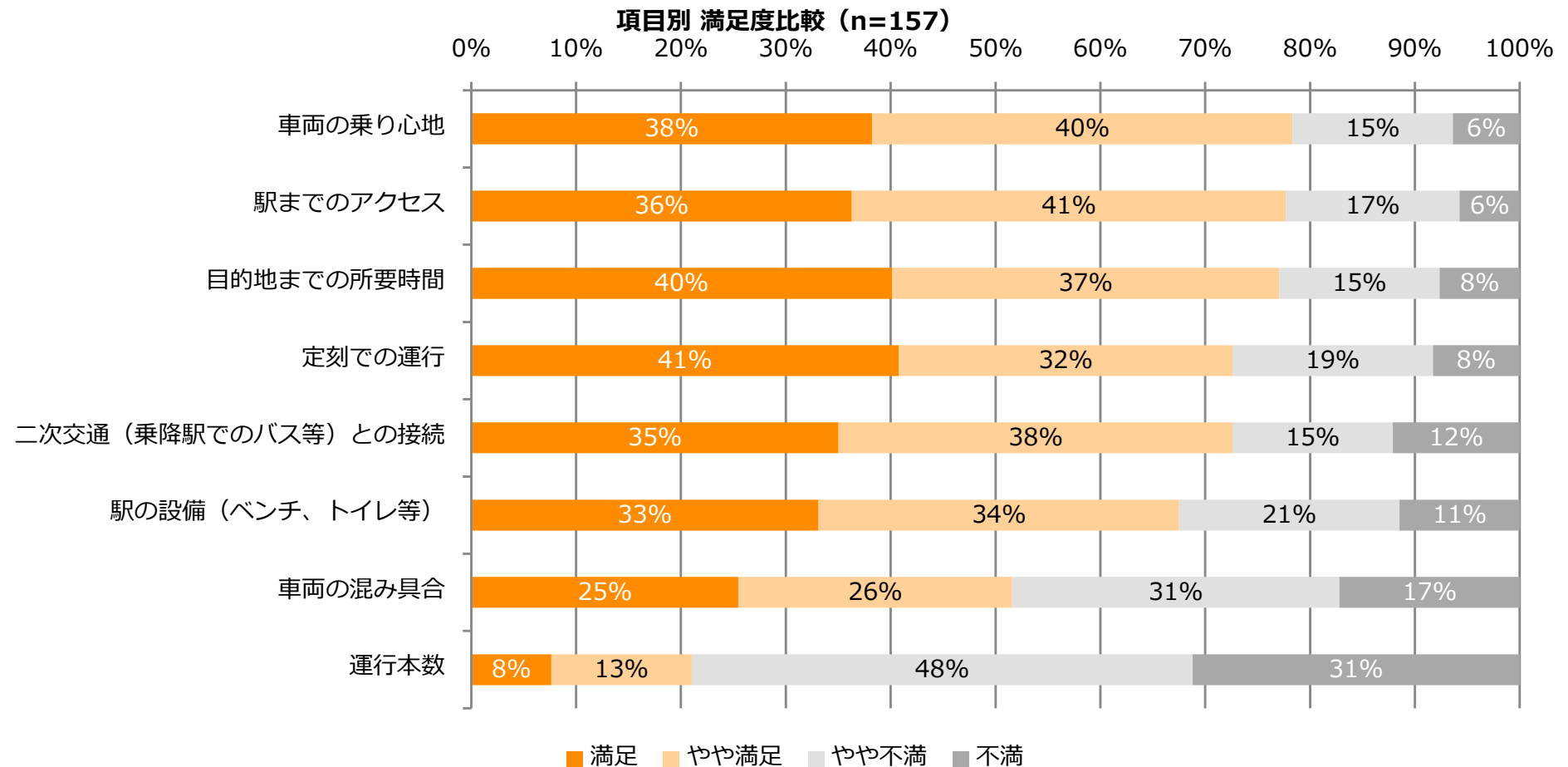
項目別の満足度

- ・ 評価が比較的高い項目

： 車両の乗り心地、駅までのアクセス、目的地までの所要時間 等

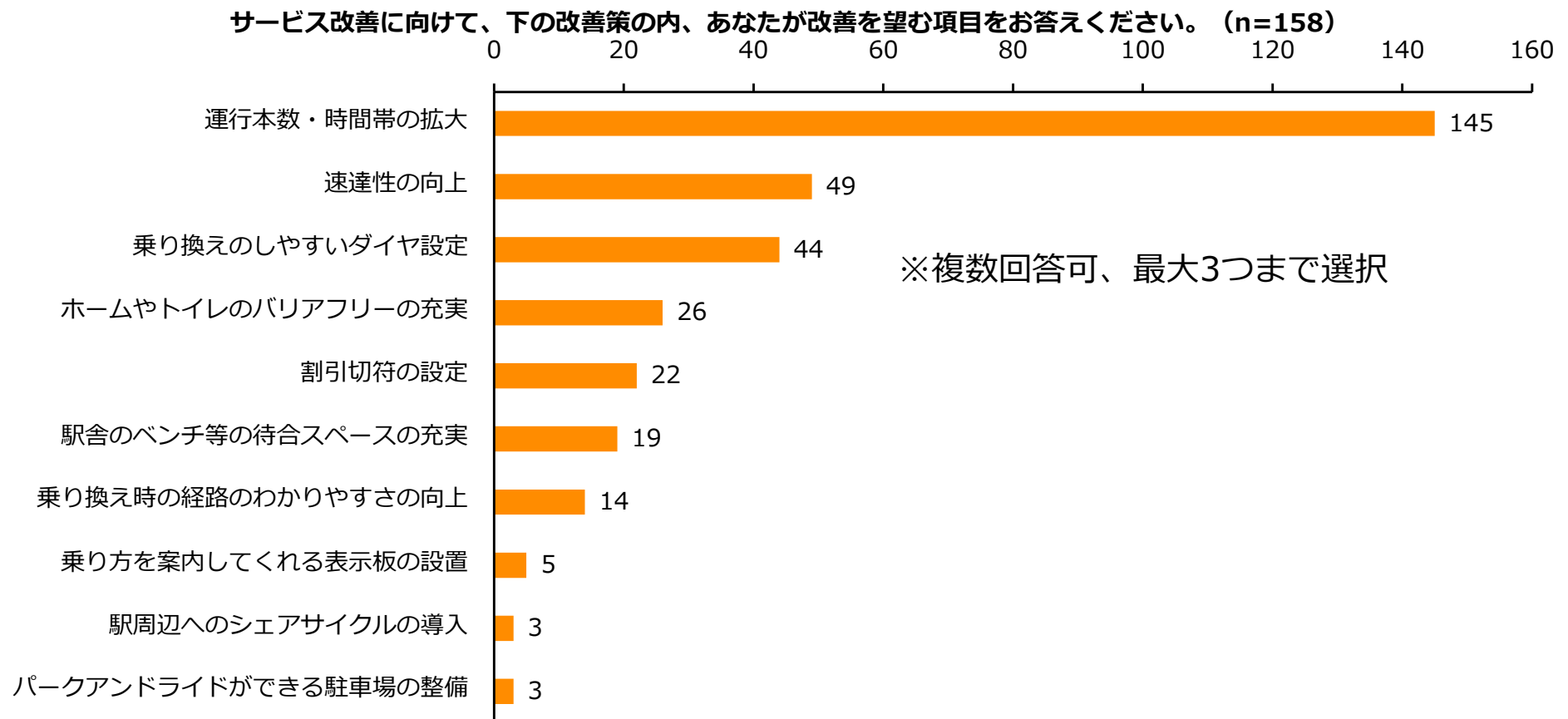
- ・ 評価が比較的低い項目

： 運行本数（約8割が不満・やや不満）、車両の混み具合



主な改善要望

- 「運行本数・時間帯の拡大」が最も多い（約9割）
- 「速達性の向上」、「乗り換えのしやすいダイヤ設定」も一定数あり



主な移動先（OD：出発地/目的地）

- ・ 出発地/目的地：
 - 飫肥（赤色）が全体の約 5 割（高校通学）
 - 宮崎市内中心部（青色）が全体の約 2 割
 - 区間内完結（油津～志布志、緑色）：約 1 割

出発地 \ 目的地	延岡	日向住吉	宮崎	南宮崎	宮崎空港	田吉	南方	子供の国	飫肥	日南	油津	大堂津	南郷	谷之口	榎原	日向大束	日向北方	串間	福島今町	福島高松	大隅夏井	志布志	合計
延岡		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
日向住吉	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮崎	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	2	0	0	0	3	9
南宮崎	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
宮崎空港	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
田吉	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南方	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
子供の国	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飫肥	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	3	8	1	0	0	0	1	0	0	0	0	13
日南	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	4	1	0	0	0	1	0	0	0	0	6
油津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		2	2	0	0	0	0	4	0	1	0	0	9
大堂津	0	0	3	1	0	0	0	0	2	2	1		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	10
南郷	0	1	6	3	1	0	1	0	34	3	3	1		0	0	0	0	1	0	0	0	1	55
谷之口	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	4
榎原	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0		0	0	0	0	0	0	0	3
日向大束	0	0	1	1	0	0	0	0	7	1	0	0	0	0	0		0	1	0	0	0	0	11
日向北方	0	0	0	0	1	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0		1	0	0	0	0	6
串間	0	0	4	0	1	1	0	1	18	5	1	0	0	0	0	1	1		0	0	0	0	33
福島今町	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	2
福島高松	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0
大隅夏井	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0
志布志	0	0	2	1	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		7
合計	0	1	16	6	6	1	1	1	73	12	5	7	20	2	0	2	1	11	0	1	0	4	170

日南線（油津・志布志間）のまとめ

● 鉄道の利用状況

- ・ ピークの列車は一定数の利用があるものの、昼間の時間帯は閑散としている
- ・ 朝は上り方面、夕方は下り方面の列車に乗車している方が多い

● 鉄道利用者の属性

- ・ 高校生の利用が主であり、70代以上の高齢者の利用は少ない
- ・ 利用目的は通学が6割程度を占め、観光・旅行、通勤利用が約1割ずつある
- ・ 飫肥を目的地とした利用が多く、宮崎市内中心部まで乗車している方も一定数いる

● 満足度・改善項目

- ・ 運行本数・時間帯の拡大に関する要望が多い
- ・ 一方で、車両の乗り心地、駅までのアクセス、目的地までの所要時間 等に関する満足度は高い

沿線高校生へのアンケート調査結果について

令和 8 年 2 月

沿線高校生アンケート 調査概要

実施経緯

- 第1回会議で「次回の会議までにアンケートなどによりデータの収集を行うものとし、その方法等については、今後、事務局等で検討し、委員に諮った上で実施する。」というまとめを踏まえ、検討会議を主体として実施するもの

目的

- 日南線沿線の高校6校を対象とした調査により、通学における移動の状況や日南線の利用状況等を明らかにする

概要

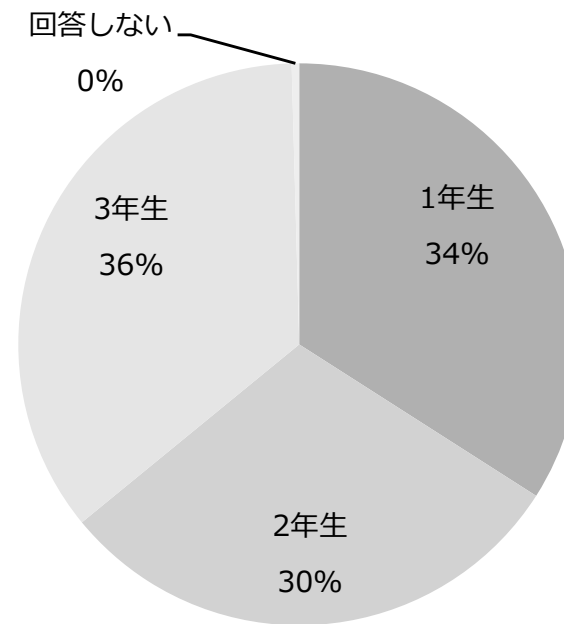
- 実施期間：2025年12月
- 回答方法：Webアンケート（高校へ依頼し学生が回答）
- 対象高校：沿線6校を対象に実施
宮崎県：公立）日南高校、日南振徳高校、福島高校、私立）日南学園高校
鹿児島県：公立）志布志高校、私立）尚志館高校
- 回答人数：916人

沿線高校生アンケート 回答傾向（学校・学年）

沿線の**高校生**の通学における**移動の状況**や**日南線の利用状況**等の傾向を掴むために**有益なデータを回収できたもの**と推察

設問3：あなたの学年をお答えください。（n=916）

- 回答は沿線全体から回収
- 学年構成も概ね均等

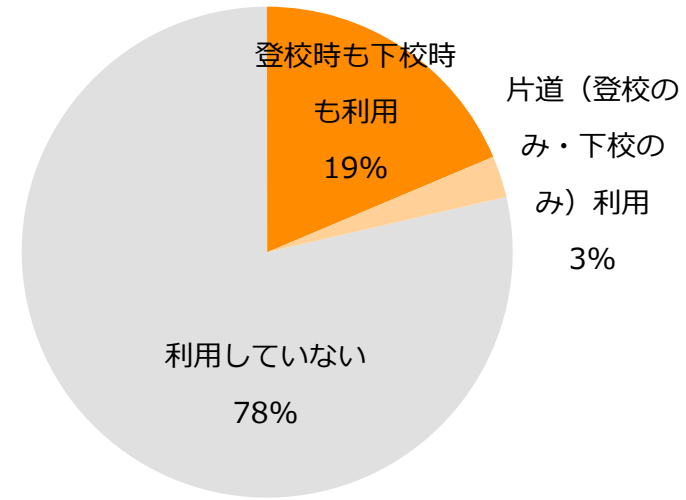


日南線の通学利用有無＋駅までの徒歩時分

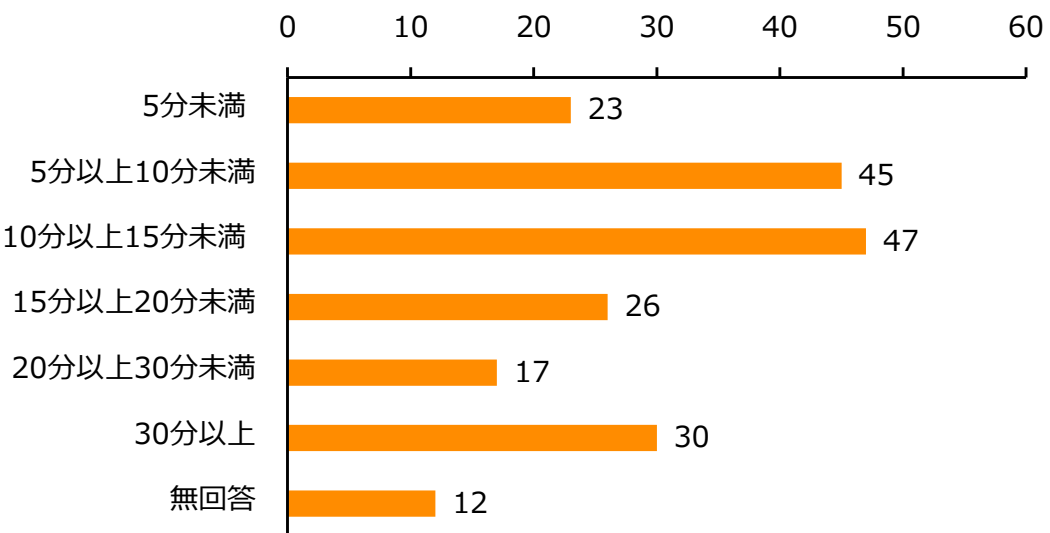
高校生の約2割が通学に日南線を利用しており、その利用者の約4割は自宅から駅まで徒歩15分以上を要している

- 通学利用者は少数派ではあるが、一定数存在
- 駅までの移動負担が大きい層（徒歩15分以上）が一定数存在

通学（登下校）に日南線を利用しているか。(n=916)



自宅から乗車駅まで、徒歩で何分かかりますか。(n=200)



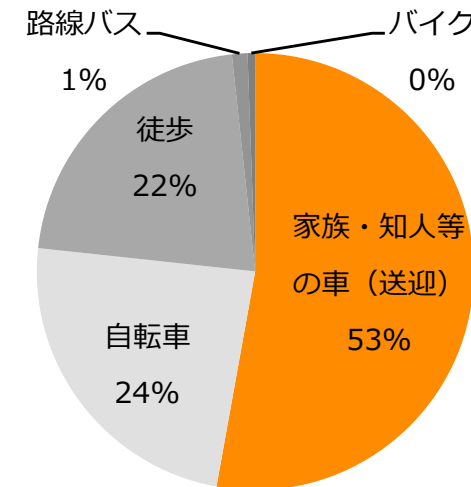
駅までの交通手段

鉄道利用者の**半数以上**は駅まで**送迎**で来ており、そのうち**約5割**は自宅から駅まで**徒歩15分以上**の距離がある

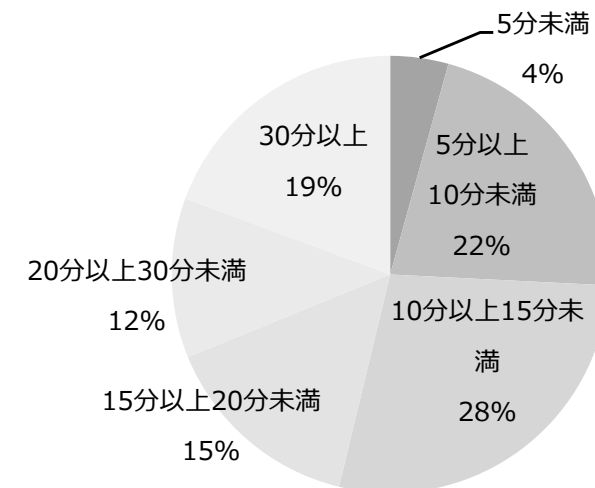
- 家族・知人等の車（送迎）が約5割

- 自宅から駅までが遠いため、駅まで送迎で来ている可能性がある

登校時鉄道利用者×自宅から乗車駅までの主な交通手段 (n=176)



駅までの交通手段：送迎×自宅から乗車駅まで徒歩時分 (n=93)

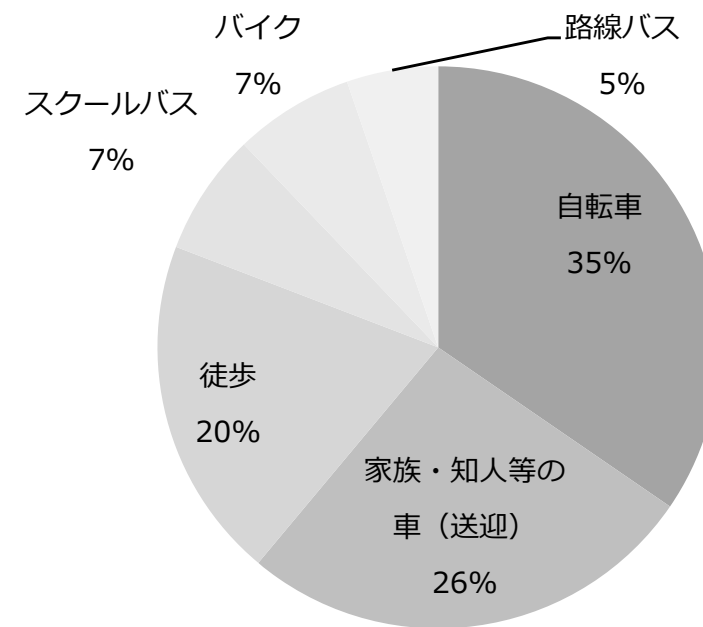


鉄道以外の通学手段

鉄道以外では、**自転車**通学が最も多く、家族・知人等の車（**送迎通学**）も一定割合を占めている

- 約 4 割が自転車通学
- 約 3 割が家族・知人等の送迎に依存

登校時に利用する主な交通手段は何ですか。(n=740)
※鉄道以外で通学と回答した学生を対象



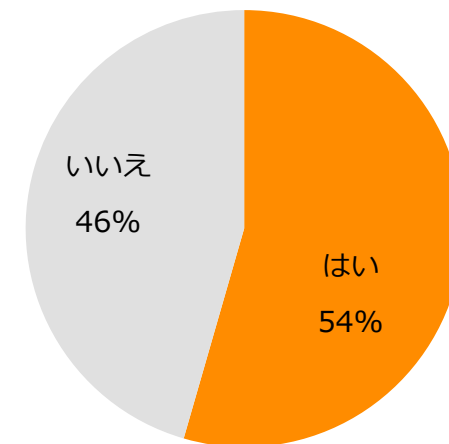
通学以外での日南線利用

通学以外では、**半数程度**の学生が日南線を利用しており、主な利用目的は「遊び」、「買物」である

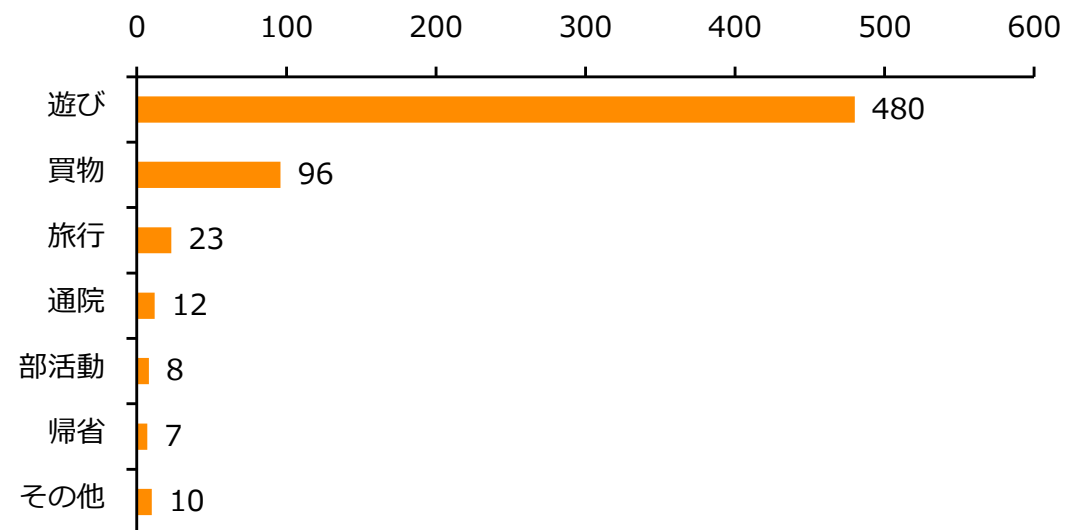
- 登下校以外では半数程度が日南線を利用

- 日常的な私用での利用が中心
- 不定期利用（旅行・帰省）の利用も一部あり

あなたは通学（登下校）以外の理由で日南線を利用していますか。（n=916）



どのような目的で利用しますか。（n=499）※最大3つまで回答可

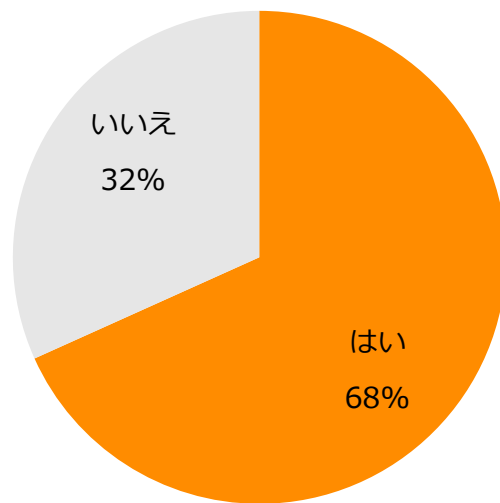


沿線3市の比較

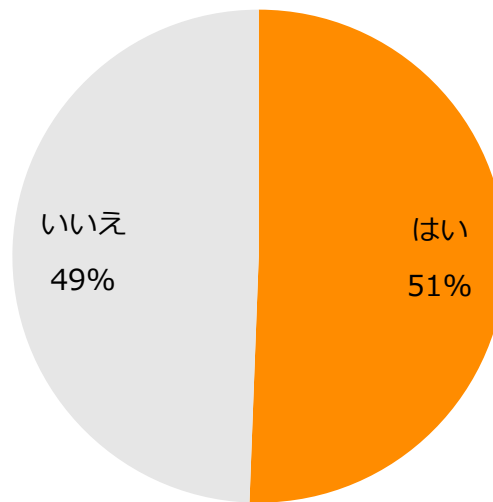
日南市、串間市では、**通学以外での日南線利用が多い**一方、志布志市では**利用が限定的**である

居住地（沿線3市）×通学（登下校）以外の日南線利用の有無

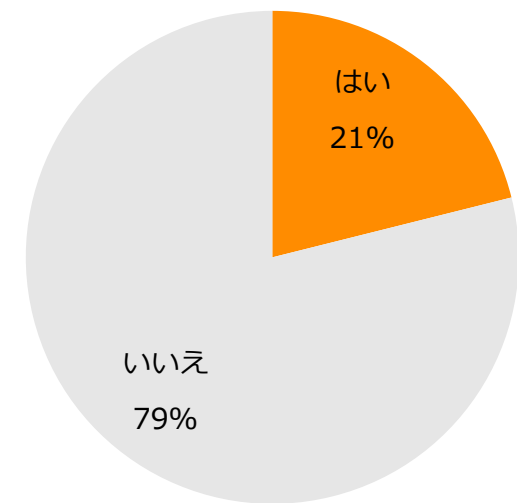
宮崎県日南市 (n=539)



宮崎県串間市 (n=166)



鹿児島県志布志市 (n=109)



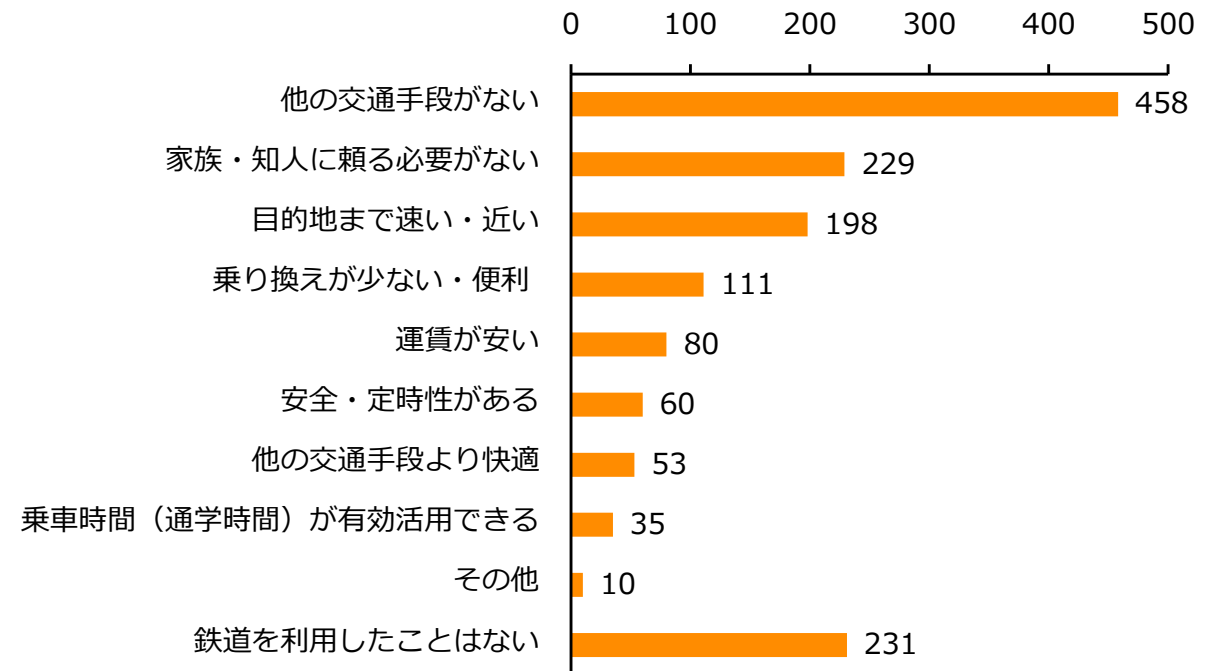
- 駅数の違いが利用状況に影響している可能性がある（志布志市は市内駅数が少ない）

鉄道利用理由

鉄道を利用する主な理由は「**他の交通手段がない**」が**最多**であり、一方で**鉄道未利用層**も一定数存在する

- 「選択肢がない」ための利用が中心である
- 「鉄道を利用したことはない」が全体の約3割

鉄道を利用する主な理由は何ですか。（最も当てはまるものを3つまで）（n=916）
※鉄道利用者・非利用者によらず回答

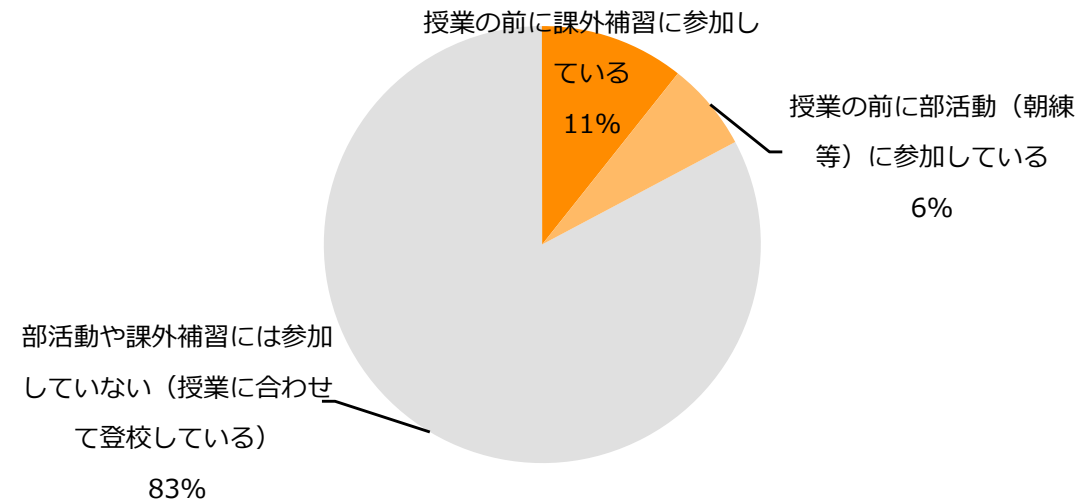


授業前・授業後の動向

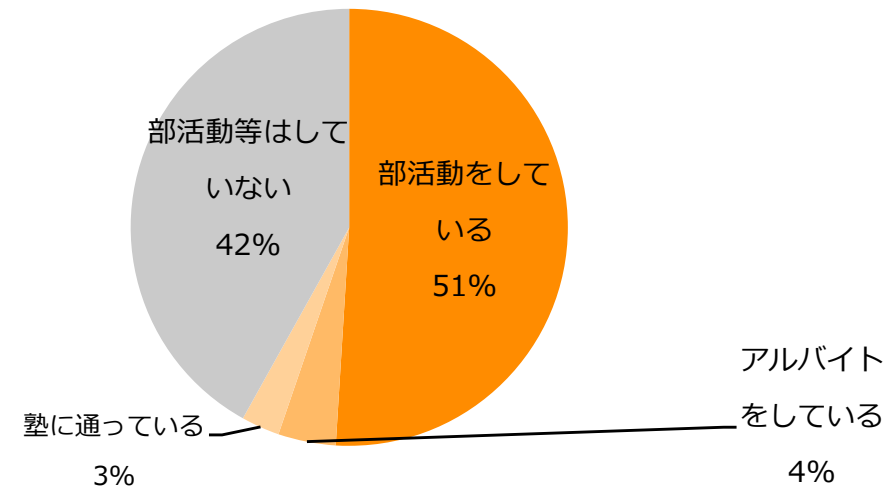
登校時は各高校の**始業時間に合わせて登校**している学生が多く、授業後は**部活をしてから下校**する学生、**授業終了後に下校**する学生に分かれていると推察される

- 授業前に部活動や課外補習に参加している学生は少数
- 授業後は部活動やアルバイト、塾に通っている学生が約6割、部活動等をしていない学生が約4割

授業の前に部活動や課外補習に参加されていますか。(n=916)



あなたは授業後に部活動・塾・アルバイト（以下、部活動等）をしていますか。(n=916)

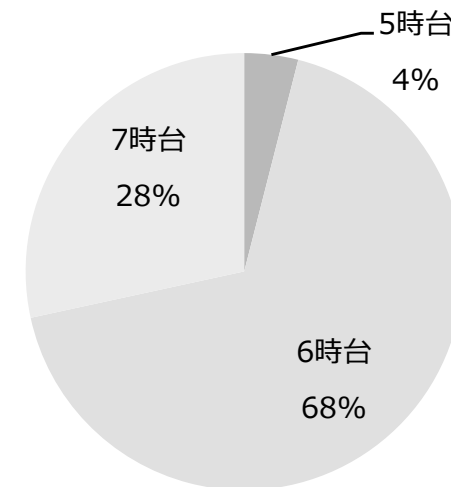


登下校の時間帯

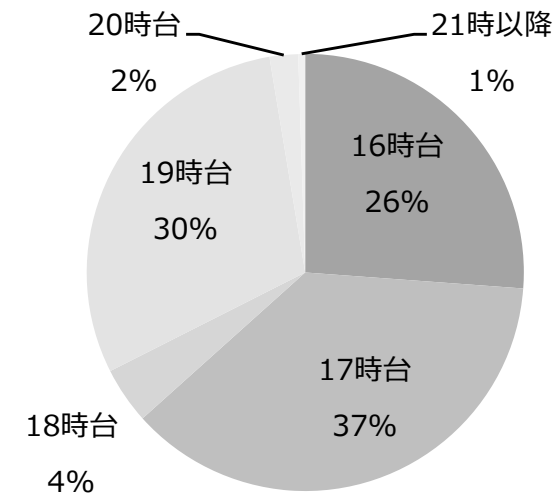
登校時は列車の選択肢が少ないこともあり、利用時間帯が**集中**する一方、**下校時**の利用時間が**分散**している

- 登校時は始業時間に合わせて登校しているため集中
- 下校時は部活動の所属の有無等により分散

登校時に主に利用する列車は何時台ですか。（列車に乗車する時間帯）（n=176）



下校時に主に利用する列車は何時台ですか。（列車に乗車する時間帯）（n=191）



沿線高校生へのアンケート調査まとめ

回答傾向：学年の偏りなく満遍なく回答

日南線の通学利用：約 2 割が利用。うち約 4 割は駅から徒歩15分圏外に居住

駅までの交通手段：送迎が約 5 割。うち約 5 割は駅から徒歩15分圏外に居住

鉄道以外での通学手段：自転車 that 4 割を占めるも、送迎も一定数存在

通学以外での鉄道利用：半数程度が利用

通学以外での沿線 3 市の比較：日南市・串間市は利用率が 5 割を超えるが、志布志市は 2 割

鉄道利用理由：「他の交通手段がない」が最多。鉄道未利用層も全体の 2 ～ 3 割存在

授業前・授業後の動向、登下校の時間帯：

授業前：始業時間に合わせて登校⇒登校時間帯が集中傾向

授業後：部活等への参加有無は半々⇒下校時間は分散傾向